

ひの 議会だより

No. 95

平成24年10月
発行/日野町議会



9月定例会 主な内容

補正予算・条例		p 2～5
平成23年度決算		p 6～7
一般質問(5人)		p 8～12
常任委員会活動報告		p 14～15

日野町農産物加工施設「大夢多夢」の皆さん
(すずはらモチを栽培し、餅の生産販売に取り組む)

総額 33億2,101万円

主な支出

歳入の主なもの	
地方交付税	1億1905万円
災害復旧費分担金	122万円
災害復旧費県負担金	195万円
県補助金	329万円
観光振興基金繰入金	50万円
町債過疎対策事業債	70万円
臨時財政対策債	2107万円
前年度繰越金	5439万円
などです。	

9月定例会は、9月11日開会し、会期を9月25日までの15日間とし、補正予算8件、平成23年度決算7件、条例の制定1件と一部改正3件、特別委員会設置1件、意見書提出4件を原案のとおり可決・認定し、閉会しました。

減債基金積立金

1億2,000万円

町営バス基金積立金

1,000万円



町道天王線改良費

1188万円

福田氏から土地の提供を頂き、根雨神社横側の町道を、歩道2m、車道5mに改良するものです。

町道根雨西側線改良に伴う水替え費用

95万円

観光費

80万円

根雨駅前パーク内の観光案内板整備や生田長江解説板移転、木山義喬記念碑移転、根雨駅構内ののぼり旗作成に使うものです。



濁谷橋改修費

294万円

橋の塗装等修繕をするものです。

生活交通確保対策事業費

70万円

タクシー利用補助金の追加です。

元気なまちづくり交付金

80万円

利用団体の増加が見込まれるので追加するものです。

農業用施設災害復旧費

350万円

町公舎改修費

320万円

シロアリ被害が予想外に多く、修繕費を追加するものです。

(関連記事15ページ)



黒坂小学校

久住分校が廃校

解体整備等費用

406万円

体育館、集会施設
の改修費用

237万円

改修後は久住自治会
で有効活用



解体される久住分校

予備費
3252万円
黒坂小学校体育館屋
根改修費に充てる予定



黒坂小学校体育館

黒坂小学校体育館
屋根改修設計監理
委託料

150万円

障害者自立支援
扶助費

378万円



道路照明設置場所

ホタル観察など考慮し、
手動点灯装置併設

15万円

町道根雨一号線
道路照明施設2基設置
(根雨上町から
国道の間)

全国中学校ソフトテ
ニス大会選手派遣費
補助金
開催地 山梨県
甲府市

40万円

議会行政調査費
調査地 宮城県
南三陸町

39万円



全国大会に出場の日野中学生

条例の制定

◎日野町地下水保全条例

目的

町民生活に欠くことのできない地下水資源を保護し、大量採取による地盤沈下などを防ぐ。

主な条例の内容

地下水採取の目的が生活用水だけに限られる場合には適用しない。

地下水を採取するための井戸（吐出口の断面積が6平方メートルを超えるものに限る。）

を掘削しようとする者は、あらかじめ町長の許可を得なければならぬ。

命令に違反した者は、10万円以下の罰金です。

平成25年4月1日から施行

条例の一部改正

◎日野町営バス購入基金条例の一部改正

基金の活用について、バスの大規模修繕の場合も利用可能とする。

公布の日から施行

◎日野町個人情報保護条例の一部改正

死亡者の個人情報の取扱いについて、開示できる者の範囲や開示することのできない情報、取扱いの特例について定める。

平成24年10月1日から施行

◎日野町立中学校等設置条例及び日野町立学校施設使用条例の一部改正

久住分校が廃止されることにより条例から削除するもの。

平成24年10月1日から施行



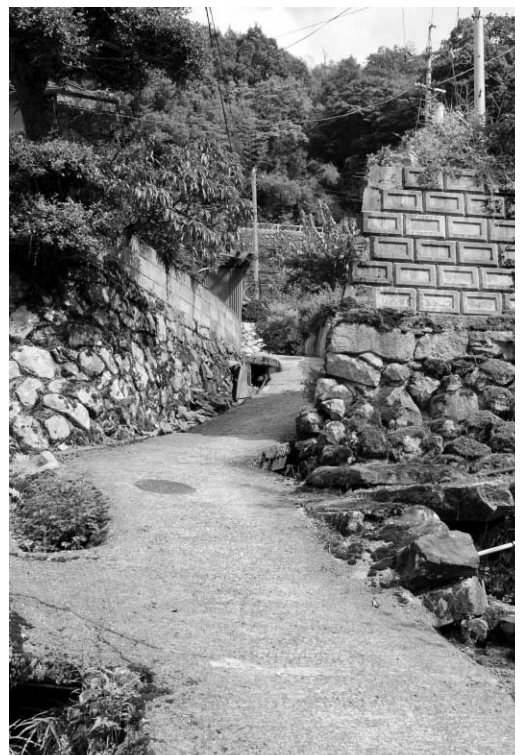
朝刈山のぶな林

特別会計補正予算

区分	補正額	総額	歳出の主なもの
国民健康保険	2,913万円	4億3,914万円	基金積立金、償還金
介護保険	1,122万円	6億 402万円	基金積立金、償還金
後期高齢者医療保険	28万円	5,474万円	医療広域連合納付金
簡易水道	60万円	1億1,492万円	給水管理費等
公共下水道事業	542万円	1億2,844万円	三谷地区、施設修繕
農業集落排水事業	△75万円	6,842万円	一般管理費の減額



舟場浄化槽施設



道路下が空洞のため修繕(三谷)

意見書

議員発議により意見書4件を、内閣総理大臣、関係大臣等に提出しました。(要旨)

●地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書

二酸化炭素吸収源として最も重要な機能を有する森林の整備・保全等を推進する市町村の役割を踏まえ、「地球温暖化対策のための税」の一定割合を、森林面積に応じて譲与する「地方財源を確保・



尖閣諸島

充実する仕組み」を早急に構築すること。

●北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書

拉致問題は重大な主権侵害であり、かつ許し難い人権侵害であることは言うまでもない。政府は、今年を勝負の年として、全精力を傾けてすべての拉致被害者を早急に救出するように強く要望する。

●香港民間団体による領海侵入及び尖閣諸島不法上陸に関する意見書

1. 尖閣諸島及びその海域の警備態勢・方針を抜本的に見直すとともに、領土・領海を守るために必要な法制度の整備、関係機関との連携、装備・人員の手当て等の拡充を急ぐこと。また、南西諸島防衛を強化する施策を実行すること。
2. 尖閣諸島は歴史的にも国際法的にもわが国固有の領土であり、そもそも領土問題は存在しないという明確な事実を国際社会に示す外交努力を行うこと。

●地方財政の充実・強化を求める意見書

1. 被災自治体に対する復興費については、国の責任において確保し、自治体の財政が悪化しないよう各種施策を十分に講ずること。また、復旧・復興に要する地方負担分は、通常の予算とは別に計上すること。

2. 医療・介護、子育て支援分野の人材確保など、少子・高齢化に対応した一般行政経費の充実、農林水産業の再興、環境対策など、今後増大する財政需要を的確に取り入れ、2013年度地方財政計画を策定すること。

3. 地方財源の充実・強化をはかるため、地方交付税の総額確保と小規模自治体に配慮した再分配機能の強化、国税5税の法定率の改善、社会保障分野の単位費用の改善、国の直轄事業負担金の見直しなど、抜本的な対策を進めること。

意見書、全議員賛成で可決しました。

平成23年度日野町一般会計歳入歳出決算認定	反対賛成	佐々木求議員 他8名
日野町個人情報保護条例の一部改正 日野町営バス購入基金条例の一部改正 日野町立中学校等設置条例及び日野町立学校施設使用条例の一部改正 日野町地下水保全条例の制定 平成24年度日野町一般会計補正予算（第3号） 平成24年度日野町国民健康保健特別会計補正予算（第2号） 平成24年度日野町介護保険特別会計補正予算（第1号） 平成24年度日野町後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第1号） 平成24年度日野町簡易水道特別会計補正予算（第2号） 平成24年度日野町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号） 平成24年度日野町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号） 平成23年度日野町国民健康保健特別会計歳入歳出決算認定 平成23年度日野町介護保険特別会計歳入歳出決算認定 平成23年度日野町後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算認定 平成23年度日野町簡易水道特別会計歳入歳出決算認定 平成23年度日野町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定 平成23年度日野町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定 平成24年度日野町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号） 地方行政調査特別委員会の設置	全議員賛成 中原 信男議員 梅林 智子議員 松本 利秋議員 松原 直人議員 小谷 博徳議員 安達 幸博議員 佐々木 求議員 中原 明議員 竹永 明文議員 議長は採決に加わりません。	

平成24年第7回定例会採決結果一覧表

一般会計

賛成多数で認定

決算

歳入総額 34 億 3,590 万 2,455 円

歳出総額 31 億 8,709 万 0,287 円

決算審査特別委員会を設置して、9月11日から9月24日までの内7日間、平成23年度一般会計及び特別会計6会計の決算を審査し認定しました。

一般会計

滞納額累積にストップを

町民税現年分の徴収率は、昨年度同様100割で、徴収努力を評価します。

滞納額は、昨年度より270万円減少しているものの1億1123万円と多額です。

特別会計	歳入総額	歳出総額
国民健康保険	4億2,005万3,857円	3億9,091万3,885円
介護保険	5億5,571万5,551円	5億3,908万9,237円
後期高齢者医療保険	5,351万7,570円	5,323万1,170円
簡易水道	1億1,291万9,324円	1億1,291万9,324円
公共下水道事業	1億2,418万2,737円	1億2,418万2,737円
農業集落排水事業	7,004万2,640円	7,004万2,640円

事業執行は概ね良好

その内、住宅新築資金等貸付金、災害援護資金貸付金の滞納額は、減少し徴収努力の成果として評価しますが、未収金総額の82・4割となり、財政運営に大きな影響を与えており、納税義務意識を徹底し、徴収に努められたいと指摘しました。

その他の滞納額は、下記の表の通りです。

歳出では、執行率94・15割で昨年度より1・26ポイント上がり各事業の執行は概ね良好でした。

各事業における経費等支出の節減の努力が見られ不用額として1億3703万円ありました。

黒字決算で基金(預金)積立

歳入歳出差し引き実質収支額は2億439万円の黒字決算で、財政健全化に向けた成果と評価します。

この内、法に基づいて基金(預金)に1億5000万円の積立をしました。

特別会計

6会計いずれも歳入歳出の事務処理については、適正に処理され良好と認められました。

多重債務傾向

企業会計でもある簡易水道、公共下水道事業、農業集落排水事業特別会計の滞納額は、昨年度より減少しています。

国民健康保険特別会計では、滞納額が昨年度より76万円増加し、2663万円の多額です。

滞納者は、固定化、多重債務化している中で、徴収方法等の検討を指摘しました。

主な税金等の年度別滞納額

区分	21年度	22年度	23年度
一般会計	1億1,072万円	1億1,394万円	1億1,123万円
町民税、固定資産税	1,396万円	1,514万円	1,609万円
住宅使用料	326万円	355万円	347万円
住宅新築資金等貸付金	7,480万円	7,372万円	7,169万円
災害援護資金貸付金	1,864万円	2,152万円	1,996万円
特別会計	2,828万円	2,686万円	2,732万円
国民健康保険	2,698万円	2,587万円	2,663万円
簡易水道事業	56万円	66万円	49万円
公共下水道事業	54万円	28万円	15万円



日野町庁舎

預金は増加 借入金は減少

基金(預金)総額は、
13億1,205万円で前年より3億8,49万円の増加となりました。地方債(借入金)は31億6,654万円で前年より3億1,887万円の減額となりました。
事業ごとの借入金残高は、下記の表の通りです。

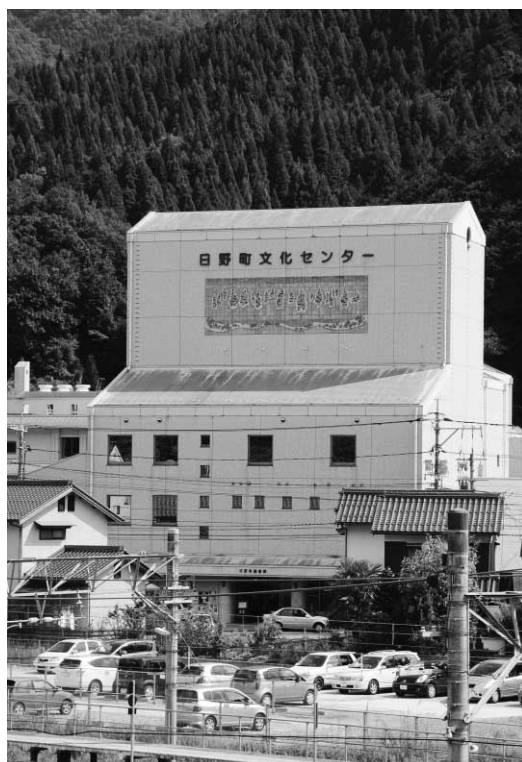
財政健全化に向かう

実質公債費比率は、昨年度国の基準である25^割を下回り財政健全化計画を完了していますが、23年度も昨年より2.2ポイント低い22・6^割と改善され、借金の将来的負担を示

平成 23 年度 事業別主な地方債(借入金)残高

鳥取県西部地震復旧復興関連	7億1,240万円
町道、林道、農道(広域農道含む)	4億8,063万円
庁舎、保育所、町営住宅等施設整備	4億4,169万円
臨時財政対策費	11億8,998万円
災害復旧費	1,092万円
防火水槽等その他	3億3,092万円
地方債(借入金)合計	31億6,654万円

す将来負担比率も、81^割と、より健全化に向かっており評価します。



日野町文化センター

主な個別指摘事項

今後、人口減が予測され、インフラ維持などに、多大な経費が予想される。国からの交付税措置など不透明な状況もあり、基金積立てで対処されたい。

消防費の不用額20万円。団員確保等募集努力は認められるが、企業理解、団員の待遇改善などに考慮して、一層の団員確保に努められたい。

公民館運営審議会のあり方や運営の見直し。

地域公共交通のあり方で、住民の声が反映されるような会議の設立。

インフラ整備を含む将来負担などの諸問題を検討する審議会等の設置。

元気なまちづくり交付金の使途について、地域活性化に一過性のものではなく、継続することも視野に入れて、基準の明確化を図られたい。



日野中学校 図書館

一般会計決算

反対討論 佐々木 求議員
一般会計が、予算として提案された時にも反対の討論をしました。

理由は、同和対策関連の事業費が計上されていることです。

根拠法が無くなり十年以上も経つたのに、いまだにこうしたものが執行されていることは許されないことです。人件費が主なものではありません。一日も早く解決を図るためになくすることこそ大事です。

一般会計決算は、不認定とし反対討論とします。

賛成討論 安達 幸博議員

財政健全化法による実質公債費比率が22・6^割で引き続き25^割を下回り評価します。国の交付金等を活用し、中学校空調設備改修、道路改良、タクシー車両購入補助、図書購入、地上デジタル放送移行に伴い、受信困難な地域の共聴施設の整備にも取り組まれました。

不用額1億3,703万円は、経費の節減に努力された結果であり評価します。

個別指摘事項はありますが、いずれも不認定と決するまでのものではなく、平成23年度一般会計決算を認定し、賛成討論とします。

決算審査特別委員会

委員長 小谷 博徳
副委員長 安達 幸博
委員 竹永 明文
中原 明
佐々木 求
松原 直人
松本 利秋
梅林 智子

(議長、監査委員を除く)